

オーディション 募集要項

募集内容 ▶ 出演者(男女)若干名 ※役の指定はありません

実施日時 ▶ 3月17日(日) ①13:00~16:00 ②17:00~20:00

上記①②のいずれかの回にご参加ください。
課題テキストによるオーディションと面談をおこないます。
※応募者多数の場合、書類選考あり

会場 ▶ 三重県文化会館

資格 ▶ 高校生以上で、稽古および公演日程に積極的、協力的に参加できる方
(18歳未満の場合、決定後に親権者の同意書が必要)

出演料など ▶ 年齢・キャリアなどを勘案して、個別にご相談いたします
※チケットノルマはありません
※稽古や公演に係る交通費および宿泊は第七劇場が提供

申込方法 ▶ webフォームまたは、メールに以下の項目を明記の上、お申し込みください

- 1) 氏名・ふりがな
- 2) 生年月日、年齢
- 3) 性別
- 4) 所属団体・学校
- 5) 住所
- 6) 電話番号[携帯]
- 7) メールアドレス
- 8) 舞台出演歴
- 9) 応募動機
- 10) その他特記事項
- 11) バストアップ写真添付
- 12) 参加希望回 第1希望・第2希望《3月17日13:00/17:00から選択》



webフォーム



メール

申込締切 ▶ 3月8日(金)24:00 締切 ※メール・webともに

選考結果 ▶ 3月末までにお伝えします

稽古日程 ▶ 7月下旬から稽古開始、計30回前後予定
※稽古日は出演者の都合を調整しながら決定します
※稽古は主に第七劇場の拠点 Théâtre de Belleville で実施

※ dainanagekijo@gmail.com よりお返事いたしますので、必ず受信できるよう設定をお願いします。

ヘンリック・イプセン

ノルウェー出身の劇作家・詩人。「近代演劇の父」と呼ばれる演劇史上の巨人。シェイクスピア、チャーホフと並び、現在でも世界中で盛んに上演される。19世紀当時一般的だった勤善懲悪の物語や歴史上の偉人が登場する大作から離れ、個人の生活や現実の社会の課題などを題材に戯曲を執筆。ほかの作品には「ペール・ギュント」「民衆の敵」「人形の家」「幽霊」などがある。

ヘッダ・ガブレル

1891年、ミュンヘンで初演。研究者の夫テスマンとの関係に息苦しさを感じている妻ヘッダは、退屈な日々と、身近な生気に溢れた人たちに苛立ちを覚える。テスマンの研究者としてのライバルでありヘッダの元恋人レーヴボルクの死、ヘッダの古い友人テアとテスマンの研究上の意気投合、レーヴボルクの死に関する判事の思惑が交錯し、嫉妬と羨望と絶望が高まる中でヘッダは、自身の行動で自らを追い込み自殺してしまう。